

13 お雇い外国人（５）ラストサムライ：ジュール・ブリュネ

以前にご紹介したアルベール・シャルル・デュ・ブスケ (<https://www.fr.emb-japan.go.jp/files/100479005.pdf>) とともに 1867 年に第一次軍事顧問団として来日した軍事顧問の一人に、ジュール・ブリュネ (1838-1911) がいます。ブリュネは、エコール・ポリテクニーク（理工科大学校）で学んだ後に、士官学校と砲兵学校を卒業して陸軍に入りました。ブリュネは、シャルル・シャノワヌを隊長とする軍事顧問団の副隊長として来日しました。



Jules BRUNET

1868 年に誕生した明治政府によって軍事顧問団が解散を命じられた際に、ブリュネはフランス軍籍を離脱して日本に残り、戊辰戦争の最後の戦いであった箱館戦争で旧幕府軍を支援しました。しかし、旧幕府軍は敗北し、ブリュネはフランスへ送還されました。1870 年に勃発した普仏戦争で軍への復帰が認められ、将官となって軍人としてのキャリアを終えました。ブリュネはスケッチの才能もあり、当時の幕府軍の姿を多くのスケッチに残しました。

2003 年に公開されたハリウッド映画「ラストサムライ」で、トム・クルーズが演じたネイサン・オールグレンのモデルとなったのが、ジュール・ブリュネだと言われています。

参考：フランス国防省ウェブサイト「本当の《ラストサムライ》を知っていますか？」（仏語のみ）

<https://www.defense.gouv.fr/actualites/articles/le-saviez-vous-jules-brunet-le-vrai-dernier-samourai>

なお、箱館戦争の舞台となった五稜郭は、フランス北部のリールに残る要塞と同じく星形要塞で、当時の箱館奉行所の役人がフランス軍から学んで設計されたものです。

掲載日：2022 年 3 月 1 日